

番号	課名	グループ名
D - 39	上下水道工務課	下水道工務グループ

事務事業名		一般下水路新設改良事業					新規・継続	継続		
							ソフト・ハード	ハード		
総合計画との関連	主要施策名(施策コード)	VI-18-45	生活排水処理対策・浸水対策の推進							
	関連施策名(施策コード)	VI-18-45	生活排水処理対策・浸水対策の推進							
基本項目	事業内容(経緯)	一般下水路新設改良事業は、公共下水道計画区域外の地区における生活排水対策・雨水対策を目的に行うものであり、地区の要望も多く優先順位を考慮しながら計画的に整備を行っています。今年度は、当初5地区の整備を計画していましたが、地区関係者と工法協議を重ねコストダウンを図り7地区整備する事ができました。								
	行動指標	指標名	説明・算式・引用	単位	実績の推移			H28実績値	H31計画値	
					H25	H26	H27			
		①	整備箇所数	整備がされた箇所数	箇所	10	9	5	7	7
		②								
③										
④										
事業対象	公共下水道計画区域外	成果	地区住民の生活環境整備の改善と降雨時における雨水排水の向上が図られました。							
成果指標	指標名	説明・算式・引用	単位	実績の推移			H28実績値	H31計画値		
				H25	H26	H27				
	整備箇所数	整備済みの箇所(累計値)	箇所	245	254	259	266	273		

コスト 事業費+人件費	フルコスト(千円)	内訳	国庫補助金(千円)	県補助金(千円)	市債(千円)	使用料・手数料・その他(千円)	一般財源(千円)
	7,858						7,858

評価の視点	評価	判断基準		理由
	必要性	目的が市民ニーズに照らして妥当か		公共下水道計画区域外の地区においては、生活排水と雨水兼用の水路が多く、断面も小さく、勾配も取れていない状況で衛生面や雨水対策として要望が多く必要な事業です。
		A	A: 適応している B: 一部適応していない C: 適応していない	
	有効性	目的や目標に照らして予想される効果が得られるか		排水路が整備されれば、スムーズな流れになり臭気等が解消され生活環境の向上に有効性が高いと考えます。
A		A: 期待したとおりの効果がある B: 期待したほどの効果が見られない C: 効果が少ない		
効率性	行政資源量(特にコスト)に対し合った効果があるか		整備された排水路は、将来的に合併浄化槽処理水の重要な排水路として活用でき効果的と考えます。	
	A	A: 効率的に効果が出ている B: 改善の余地がややある C: 効率的に効果が出ていない		
事業の問題・課題	公共下水道計画区域外の地区においては、生活排水と雨水兼用の水路が多く、断面も小さく、勾配も取れていない状況で衛生面や雨水対策として要望が多く出ています。財源として、起債事業から市の単独事業となり施工力소가減少しています。			
前年度の改善案	現場の状況や生活環境を考慮し、多くの要望に応じるようにコスト縮減に努め施工力所を増やすように努めます。			
具体的な改善案	蓋設置の要望については、原材料支給で対応し区民により設置をお願いしています。水路改良の施工場所は狭く人力施工が多く、地区に協力をお願いし民地を利用しての重機施工によりコスト縮減を図りました。			

課長評価	現状のまま継続する(継続)	理由	本事業の実施により、周辺部の環境改善はかなり図られたが、未だに生活排水等の放流先も無い地区もあり事業の継続は必要と考えます。
------	---------------	----	--